

第4回国家公務員共済組合連合会契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成26年8月28日(木) 九段合同庁舎9階 共用第一会議室	
委員 (敬称略)	委員長 栗田 誠 (千葉大学大学院専門法務研究科教授) 委員長代理 藤川 裕紀子 (藤川裕紀子公認会計士事務所 公認会計士) 委員 渡辺 周 (平沼高明法律事務所 弁護士) 委員 小林 廣之 (国家公務員共済組合連合会 常任監事) 委員 大森 摂生 (国家公務員共済組合連合会 常任監事)	
審議対象期間	平成25年度	
抽出案件	5 件	(備考)
① 競争性のない随意契約における随意契約事由の妥当性・経緯及び契約金額の妥当性	1 件	契約件名 : 竹橋総合ビル管理業務請負契約 契約締結日: 平成25年4月1日 担当部局 : 東京共済会館(宿泊事業部)
② 競争契約における入札参加資格の設定理由・入札の経緯、入札手続きの妥当性	1 件	契約件名 : (仮称)高齢者総合サポートセンター・九段坂病院合築整備工事 契約締結日: 平成25年6月13日 担当部局 : 本部(管財・営繕部)
③ 一者応札・一者応募であったものについて、競争性確保の妥当性	1 件	契約件名 : 放射線機器一括保守 契約締結日: 平成25年4月1日 担当部局 : 虎の門病院(病院部)
④ 落札率が100%であったものについて、予定価格の設定に関する妥当性	1 件	契約件名 : 医事課業務委託 契約締結日: 平成25年10月1日 担当部局 : 浜の町病院(病院部)
⑤ その他委員会が審議を要すると認めた契約の契約方式の妥当性等	1 件	契約件名 : 医薬品の購入 契約締結日: 平成25年4月1日 担当部局 : 横須賀共済病院(旧令病院部)
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	

意見・質問	回答等
<p>【案件 1】 竹橋総合ビル管理業務請負契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3機関の共同所有のビルのメンテナンス業務等について、いままでずっと随意契約としてきた理由はなにか。 ・平成26年度から試験的に総合評価方式に移行して、共同所有者である幹事会社がホームページに公告しているが、KKRとしてもホームページに掲載してはいかがか。 ・落札から契約の開始までの期間が、準備期間を考慮してももう少し長くしてはいかがか。 ・予定価格については、見積書を徴して、その金額をもって決定しているが、もう少し精査した方がよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3機関がお互いにセキュリティなどの理由から、竣工以来の実績のある業者以外できないと判断していたためである。 ・幹事会社と協議の上、前向きに検討したい。 ・そのように対応したい。 ・ビルの管理部門が予定価格を決定しているが、今後は適切な指導をしていきたい。
意見・質問	回答等
<p>【案件 2】 (仮称)高齢者総合サポートセンター・九段坂病院合築整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築のほかに設備や電気の工事が含まれているが、一括発注した理由はなにか。 ・同種工事を経験した主任技術者又は監理技術者を専任で配置するという条件は厳しいのではないか。 ・東京オリンピックに向け工事量が増えてくるので、さらなる条件緩和が必要となるのではないか。 ・入札辞退者を減らすため、郵便による入札や電子入札についても検討されてはいかがか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の影響で職人の不足という理由から工事費が相当上がってきている。このような状況下で、不落のリスクを減らすため一括発注とした。 ・従来の現場代理人又は監理技術者の経験を有した者としていたものを、今回から、完成・引渡しが完了した工事の経験を有する者と緩和した。 ・中央官庁も経験年数等の条件を緩和してきているので、検討したい。 ・今後、費用対効果など考慮し、検討したい。
意見・質問	回答等
<p>【案件 3】 放射線機器一括保守</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加できる業者も少なく、結果的に1者入札の状況を考えると、もっと積極的に入札参加を促してはいかがか。 ・従来に比べてコスト削減につながっているのか。 ・さらにスケールメリットを活かすため、本部が中心となり、他の病院を含めて一括で発注する方向にあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公平性を確保しつつ、参考見積を依頼するなどの対策を検討したい。 ・およそ10%のコスト削減につながった。 ・まだ限られた業者しか確認されていないが、今後、医薬品や医療材料と同様に、一括保守も検討したい。

意見・質問	回答等
<p>【案件 4】</p> <p>医事課業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の契約金額をベースに、予定価格を積算しているが、これでは前回の落札業者に有利に働いていないか。 ・総合評価方式により評価しているが、価格点と技術点の配点や採点方式に問題があったのではないか。 ・実績要件の中に福岡市と限定しているように見えるので、表現を含め、よく検討していただきたい。 また、あまりに過去の実績にこだわると、新規参入の障害となるおそれがあるので、併せて検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格の適切な決定方法について、更に検討を加えたい。 ・今回初めてということもあり、配点や採点方法が本部の指導内容とは異なっていたので、より一層の指導に努めたい。 ・了解した。
<p style="text-align: center;">意見・質問</p> <p>【案件 5】</p> <p>医薬品の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の政策上、また、病院の収支改善にもつながることから、後発医薬品の導入促進を図るよう、後発医薬品の購入も病院に任せるのではなく、値引交渉は本部で行い、より大きな値引を確保するなど、後発医薬品にインセンティブを置く仕組みが必要ではないのか。 ・なぜ、個々の病院で単品単価で率を決めなおすのか。 	<p style="text-align: center;">回答等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部は中期計画において数値目標を設定し、導入促進に取り組んでいる。また、一部後発品については、本部で共同価格交渉に取り組んでおり、後発品のみの平均で約20%程度の率を確保し、採用促進につなげている。さらに、当会では、薬局長レベルでの安全性等の検討を行い、後発医薬品推奨品リストを作成し、導入の促進につなげている。 ・厚生労働省が単品単価での契約を推奨していることを受け、個々の病院においては単品単価契約をしている。 病院毎の医薬品使用量は異なり、本部が行った値引交渉の結果を個々の病院に反映させるためには、病院毎に単品ごとに価格を定める必要がある。
<p style="text-align: center;">意見・質問</p>	
<p>【審議全体を通じての指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約の適正化という観点から、今後次の点について特に留意する必要がある。 <ol style="list-style-type: none"> ① 入札説明書の記載内容、特に、総合評価における評価基準や落札者決定方法については、より一層の明確化に努めること。 ② 予定価格の設定について、業者見積りをそのまま採用したり、設定方法が明確ではなかったりするなどの問題点を改善すること。 ③ 落札決定から業務開始までに所要の準備期間が確保されるように入札スケジュールを設定すること。 ④ 調達手続の見直しや新たな方式の試行に伴って、本部による指導や監査をより一層強化すること。 	